

本館の立地状況の異なる2都市における 図書館利用行動分析

—市制施行後に本館を新設した2市図書館調査
をもとに—

河村 芳行

抄録

図書館本館が住民の日常動線の集結点と言える場所に設置されているか、市街地中心部とは言いがたい郊外に設置されているかということ以外の要件がほぼ等しい2つの自治体において利用者調査を行うことにより、本館の立地位置の違いが住民の図書館利用行動に及ぼす影響を考察した。

利用実態からは利用目的、利用頻度、利用理由、来館経路、利用圏域、交通手段に有意な差が見られたが、両館とも自家用車来館が中心で交通の便や距離に対する抵抗感が低くなっていることから本館の立地位置の優劣を競う内容の違いとまではいえないこと、また、本館立地位置の違いにかかわらず、従来距離に影響を受けやすく分館利用の中心であるとされてきた主婦や無職高齢者層においても本館志向が見られ、この新たな利用者集団の出現により平日には主婦と無職者が、休日には勤務者と学生が多く利用しているという平日と休日との棲み分け現象が起こっていることが明らかになった。

目次

1. はじめに
 2. 調査対象館の概要
 3. 調査概要
 - 3.1 調査対象
 - 3.2 調査方法
 4. 登録者調査から
 - 4.1 利用館選択
 - 4.2 主利用館別属性
 5. 本館来館者調査から
 - 5.1 平日・休日別構成
 - 5.2 利用目的・頻度
 - 5.3 本館を利用する理由
 - 5.4 来館過程
 - 5.5 自宅からの距離
 - 5.6 利用交通手段と所要時間
 - 5.7 滞在時間
 6. まとめ
- 註・参考文献

1. はじめに

一つの自治体内での本館と分館の配置計画すなわち地域計画では、本館は全住民を利用対象とする施設であるから住民の生活圏の中心で公共交通の結節点など分かり易く、行きやすい場所に設置することが原則である。そうした位置としては、駅前や中核的商店街近傍などが例示として挙げられる。一方、住民に高い比率で自家用車が普及している都市では、前記のような拠点的な場所に拘らず広い駐車場が確保できる郊外地に設置することも選択肢になり得るとの考え方もあり、事例も現れてき

ている¹⁾。

これまで、栗原嘉一郎らの図書館設置計画に関する一連の研究を始めとして、図書館利用行動を扱った研究は数多く、来館者密度比を用いての利用圏に基づく分館網整備による段階構成論的計画手法がほぼ定着しているが^{2~11)}、こうした本館の位置の違いが住民の利用行動にどのような影響を与えるかについてはこれまで調査事例がない。これには、人々の図書館利用行動には面積規模、蔵書冊数、蔵書内容、サービス方針など図書館側の要件と、住民の基本属性など立地位置以外にも数多くの要因が作用するので、立地位置の影響に的を絞って捉えることが難しいという事情が大きな理由に挙げられる。

本研究では、本館の立地位置以外の要件がほぼ等しい2つの自治体の図書館において利用者調査を行うことにより、立地位置の違いが住民の図書館利用行動に及ぼす影響を捉えることを目的としている。

調査対象は北海道の北広島市と石狩市の図書館本館である。北広島市と石狩市は、札幌市の東南と北とに接する人口6万人規模のベッドタウンである。市域面積はほぼ同等で、長い接点で札幌市に隣接し、札幌市内に通ずる主要道路が市域の基本骨格を成し、札幌市に近い地域で新興住宅地が開発され、際立った人口集中はないなどが共通している。ベッドタウン化の進行による新住民の増加を背景に1996年に同時に市制を施行した両市は、住民の年齢階層別構成も似通っている。両市は1998年10月(北広島市)と2000年6月(石狩市)に図書館本館を新築・開館させた。延べ床面積は共に4,000m²内外であり、約18万冊の蔵書と多様な閲覧スペースを備え、運営とサービス方針にも大きな差はない。

両館の相違点は本館の立地位置と施設形態にあり、北広島市の図書館本館がJR北広島駅前という公共交通利用者にとっては日常生活行動の中心地点に建設され、背後に計画的に開発された住宅地を擁する好条件の位置に設置されているのに対し、鉄道がなく住民の誰もが中核と認識

しているような拠点のない石狩市の図書館本館は市役所の近くではあるものの、札幌市沿いの新興住宅地のより北側に単独の敷地を得て設置されている。駐車場規模は108台で、いわば上記の郊外地立地に近い。また、単独施設である石狩市図書館に対し北広島市図書館は複合施設であるが、複合相手は集会施設であり図書館は1、2階を占めているため単独施設に近く、施設形態の差が図書館利用行動に大きな影響を与えとは考えられない。

すなわち、住民の日常動線の集結点といえる場所に設置された北広島市立図書館本館（北広島市図書館）と、いわば郊外型立地の石狩市立図書館本館（石狩市民図書館）の両館における利用者調査から、立地と図書館利用行動の関係を捉えることとする。

なお、本調査研究は利用の比較的安定した開設5年目を迎えた時期に両図書館の協力のもと順次実施したものであり、北広島市は2002年11月に来館者調査、2003年6月に登録者調査を、石狩市は2005年6月に来館者調査、2006年6月に登録者調査を行った。

2. 調査対象館の概要

来館者調査時点での両図書館の状況を表1に示した。両館とも近隣市町村住民の貸出利用登録を認めており、登録率は北広島市図書館29.5%（登録者の内訳は市内85.7%、市外14.3%）、石狩市民図書館34.7%（市内61.1%、市外38.9%）となっている。

また、両市とも分散型人口配置を補うため複数の小規模分館（室）によるネットワークを展開しており、調査時点においては、北広島市図書館は本館の他4つの図書室と11の移動図書館（BM）ステーションで、石狩市民図書館は本館の他3分館（登録者調査時点では本館+5分館）で運営していた¹²⁾。北広島市調査からはやや時間が経っていること、石狩市調査後に市町村合併が行われたことなどにより両市のネットワーク運

営に調査時点から若干の変更がみられるが、基本的な利用行動を捉えるという本稿の目的には影響がないものとする。

表1 調査対象館の概要

	北広島市図書館	石狩市民図書館
市制施行日	1996(平成8)年9月1日	1996(平成8)年9月1日
竣工年月日	1998(平成10)年10月1日	2000(平成12)年6月3日
登録者調査	2003(平成15)年6月	2006(平成18)年6月
来館者調査日	2002(平成14)年11月12日(火)／23日(祝)	2005(平成17)年6月16日(木)／19日(日)
来館者数	火曜：463人(中学上438人、小学下25人) 祝日：504人(中学上466人、小学下38人)	木曜：496人(中学上464人、小学下32人) 日曜：709人(中学上605人、小学下104人)
市人口	58,038人(2002年10月)	56,370人(2005年5月)
市面積	118.54km ²	117.86km ²
立地状況	JR駅前型	役所隣接型
複合形態	芸術文化ホールとの複合施設	単独施設
近隣市町村	札幌市(厚別区、清田区) 江別市、恵庭市、南幌町、長沼町	札幌市(手稲区、北区) 小樽市、当別町、厚田村
延床面積	4,124m ²	3,826m ²
ネットワーク網	本館＋4分室＋11BMステーション(分室：団地住民、大曲、西の里、農民研修センター)	本館＋3分館(分館：花川北、花川南、八幡)
職員(うち司書)	29名(うち司書23名)	21名(うち司書18名)
蔵書冊数	186,431冊(平成14年3月31日現在)	175,738冊(平成16年3月31日現在)
貸出登録	市外者可	市外者可
開館日・開館時間	火・水・木10:00～20:00 金・土・日・祝10:00～18:00 月曜休館	火・金10:00～18:00 水・木10:00～20:00 土・日・祝10:00～17:00、月曜休館
貸出冊数(期間)	20冊(2週間まで)	無制限(2週間まで)
登録率	29.5%(市内85.7%、市外14.3%)	34.7%(市内61.1%、市外38.9%)
駐車場	83台(うち身障者用6台)、文化ホールと共用	108台(うち身障者用2台)
交通機関	JR札幌駅から快速で16分 千歳空港から快速で20分	路線バスのみ、札幌駅から約50分 地下鉄麻生駅から約30分
運営方針	①市民に親しまれる運営 ②専門書よりも一般書を収集 ③市民の要望によりBDSなし ④自習室、社会人専用ルームあり ⑤インターネットの開放なし	①郷土史研究の拠点に ②北海道史たどる地域研究資料収集 ③自動貸出機能付きBDS(3台) ④自習禁止し読書優先 ⑤インターネット(委託：15分100円)

3. 調査概要

3.1 調査対象

登録者調査は、北広島市図書館（2003 年度実施）においては、13 歳以上の 17,633 人（登録者全体の 88.2%：市内 15,078 人，市外 2,555 人）の中から無作為に 10%抽出した 1,881 人を対象として行った。石狩市民図書館（2006 年度実施）においては、石狩市外在住の登録者（16,480 人）のうち、札幌市民が 78.4%を占めることから、市外在住利用者を札幌市在住の利用者（12,927 人）に絞り、石狩市在住の利用者 18,426 人と合わせた 31,353 人（登録者全体の 89.8%）から無作為に 6%抽出した 1,881 人を対象として行った¹³⁾。

来館者調査は、それぞれ 2002 年と 2005 年に、両館とも平日と休日の 2 日間に亘り、開館時から閉館時まで終日全来館者を対象に行った。

3.2 調査の方法

登録者調査は両市とも調査票による無記名郵送アンケート方式で、返信信用封筒にて本館への返信を依頼した。両市とも人口の流出入が激しい傾向にあり、転居先不明、住所不詳等で多数の調査票（北広島 125 通，石狩 146 通）が戻ってきており、有効回収数は北広島 803 通、石狩 604 通で、回収率は北広島 45.7%、石狩 34.8%である。

来館者調査は北広島市図書館においては 2002 年 11 月 12 日（火曜日）と同 11 月 23 日（土曜日，祝日：勤労感謝の日）、石狩市民図書館においては 2005 年 6 月 16 日（木曜日）と同 6 月 19 日（日曜日）に実施した。両館とも本館で平日と休日の 2 日間に亘り、開館時から閉館時まで終日全来館者を対象に行った。平日の調査日は両館とも夜間開館を実施している日を選定している。

調査は無記名アンケート方式により行っており、利用者が入館するときに入館時刻を記入した質問票を手渡し、それを退館時に回収して退館

時刻を記入するという方法により入退館時刻と在館時間を測定した。調査日の天候はいずれも晴れである。

なお、本稿では以後、日曜・祝日を休日に用語を統一すると共に、登録者調査との関連から中学生以上（13歳以上）の利用者についての分析を行うこととする¹⁴⁾。また、両市図書館における利用行動の独立性の検討をカイ2乗検定により行うに当たっては、期待度数が5未満のセルが存在する変数項目については、Fisherの直接法値を用いて検定を行った。

4. 登録者調査から

4.1 利用館選択

回答者が自宅から最も近いと回答した図書館を「最近隣館」、最も良く利用していると回答した図書館を「主利用館」と定義¹⁵⁾し、立地特性による違いをより明確にするために市外在住者を除いた市内在住登録者のみの最近隣館と主利用館との関係をまとめたものが表2である。

表からは、両市とも分館（室）を利用している者はほぼ例外なく最近隣の分館（室）を利用しているものの、住民の本館志向がきわめて顕著である（北広島86.3%、石狩82.4%）ことが指摘できる。この要因に関しては、5章で詳しく分析する。

表3は、最近隣館と主利用館の関係により本館・分館（室）の2つにまとめ、類型に分けて示したものである。少数者を除くと、登録者は最近隣館が本館・分館（室）のいずれであれ本館を主利用館としている利用者（類A1、類A2）と、自宅から最近隣の分館（室）や移動図書館ステーションを主に利用している利用者（類B1）との3類型に大別できる。

最近隣館が本館である利用者（類A1+類型外の少数）と分館（室）である利用者（類A2+類B1）の割合は両市で差がある（ $\chi^2=39.825$, $df=1$, $p<.01$ ）。北広島市図書館はJR駅前に設置され背後の住宅団地や新興住宅地住民の通勤・通学動線上にあるため、本館を最近隣館とする

登録者の比率が53.4%を占めるのに対し、住宅地から離れた場所に設置されている石狩市民図書館でのそれは33.0%で、立地特性の違いが反映されている。

近くの分館(室)を利用している類B1と、近くに分館(室)がなければ本館を利用している類A2との割合には両市で差があるとはいえず($\chi^2=0.402$, $df=1$, $p>.05$)、最近隣館が分館(室)である利用者が分館(室)を主に利用するか、本館を主に利用するかを選択に本館の立地位置は影響していないといえる。

表2 市内在住者の最近隣館と主利用館

単位：人

	主利用館 最近隣館	北広島 市本館	分 室				移動図	合計 *1
			住セン	大曲	西の里	農民研		
北 広 島 市 図 書 館	北広島市図書館(本館)	371	2				1	374
	団地住民センター	152	27		1			180
	大曲会館図書室	36		35			2	73
	西の里公民館図書室	22			20			42
	農民研修センター図書室	7				4		11
	最寄りの移動図書館	22		3			2	27
	合計	610	29	38	21	4	5	707
石 狩 市 民 図 書 館	主利用館 最近隣館	石狩市 本館	分 館					合計 *2
			花川南	花川北	八幡	厚田	浜益	
	石狩市民図書館(本館)	119						119
	花川南分館	91	31	2				124
	花川北分館	74	1	22				97
	八幡分館	15			6			21
	厚田分館					1		1
	浜益分館	1					1	2
合計*3	300	32	24	6	1	1	364	

*1 市外在住者84名、及び最近隣館、主利用館のいずれかが不明の者12名を除く707名が対象。

*2 市外在住者207名、及び最近隣館、主利用館のいずれかが不明の者33名を除く364名が対象。

*3 2005年10月1日の厚田村・浜益村との市町村合併後、旧村の分館を加え5分館で運営している。

表3 最近隣館と主利用館による類型

単位：人（％）

主利用館 最近隣館	本館	分館・分室	合計
本館	類 A1		
	371 (52.9) 119 (33.0)	3 (0.4) 0 (0.0)	374 (53.4) 119 (33.0)
分館・分室	類 A2	類 B1	
	239 (34.1) 181 (50.1)	88 (12.6) 61 (16.9)	327 (46.6) 242 (67.0)
合計	610 (87.0) 300 (83.1)	91 (13.0) 61 (16.9)	701 (100.0) 361 (100.0)

*1 上段数値：北広島市図書館、下段数値：石狩市民図書館

*2 北広島市の場合は、移動図書館を分館・分室に含めて集計した。

*3 類 B1 は最近隣館を利用していない者（北広島6名、石狩3名）を除く。

4.2 主利用館別属性

登録者の属性を主利用館別にまとめ、年齢及び職業構成をみたものが表4である。

(1) 年齢

本館利用者（類 A1+類 A2）は、年齢階層の割合順位に相違があるものの上位3位までを40歳代以上で占めているのが特徴で、20歳代（北広島14.6％、石狩10.5％）で構成比に違いが見られるが有意な差とはいえない（ $\chi^2=6.899$, $df=5$, $p>.05$ ）。

分館（室）利用者の類 B1 は、60歳以上の高齢者が最も多い割合（北広島32.2％、石狩36.8％）を示してしているのが特徴で、次いで50歳代（北広島21.8％、石狩26.3％）、30歳代（北広島19.5％、石狩14.0％）が2割前後占めているという良く類似した年齢構成をしている（ $\chi^2=1.682$, $df=5$, $p>.05$ ）。

(2) 職業

本館利用者（類 A1+類 A2）は、両市とも勤務者（北広島 35.8%，石狩 33.3%）と主婦（北広島 32.5%，石狩 30.9%）が多く、次いで学生、無職者、自営・家族従業者の順となっており、有意な差はない（ $\chi^2=6.042$, $df=4$, $p>.05$ ）。

類 B1 は、北広島市では主婦 47.7%、勤務 27.9%、無職者 15.1%、石狩市では主婦 50.0%、無職者 23.2%、勤務者 17.9%となっており、両市とも主婦の割合が圧倒的に高いのが特徴で、良く類似した職業構成をしている（ $\chi^2=2.820$, $df=4$, $p>.05$ ）。

4.1 節では、立地特性の違いによって本館を主利用館としている利用者（類 A1, 類 A2）の割合が異なることを説明したが、その差は利用者の年齢・職業構成に有意な差が生じるような影響を及ぼしていないと捉えることができよう。

表 5 は、多数を占める本館利用者（類 A1+類 A2）の年齢と職業との関係をみたものである。

表から、両市とも全体としては勤務者と主婦が本館利用の中心を成しており（北広島：勤務 35.8%，主婦 32.5%，石狩：勤務 33.3%，主婦 30.9%）、40 歳代、50 歳代、及び 20 歳代の勤務者と 30 歳代以上の主婦が多いことがわかる。年齢・職業構成別に総和の割合をみると、特に 10 歳代の学生（北広島 11.0%，石狩 14.8%）、60 歳以上の無職高齢者（北広島 12.5%，石狩 13.1%）、及び 30 歳代～40 歳代の主婦が多くなっている（主婦の中では北広島は 40 歳代が 9.0%、石狩は 50 歳代が 8.9%で最も多い）。これは、従来から本館利用の中心とされていた勤務者層に加え、10 歳代の小・中・高校生といった学生層、30 歳代～40 歳代の主婦層、及び 60 歳以上の無職高齢者層などが幅広く本館利用者へ移行してきていることを現しているといえる。

本館の立地状況の異なる2都市における図書館利用行動分析

表4 主利用館別利用者属性

単位：人（％）

主利用館 (類型) 属性		北広島市図書館		石狩市民図書館	
		本館 (類 A1+類 A2)	分館 (類 B1)	本館 (類 A1+類 A2)	分館 (類 B1)
年 齢	10～19	68 (89.5) (11.1)	8 (10.5) (9.2)	43 (91.5) (14.5)	4 (8.5) (7.0)
	20～29	89 (94.7) (14.6)	5 (5.3) (5.7)	31 (93.9) (10.5)	2 (6.1) (3.5)
	30～39	84 (83.2) (13.8)	17 (16.8) (19.5)	43 (84.3) (14.5)	8 (15.7) (14.0)
	40～49	119 (92.2) (19.5)	10 (7.8) (11.5)	47 (87.0) (15.9)	7 (13.0) (12.3)
	50～59	102 (84.3) (16.7)	19 (15.7) (21.8)	58 (79.5) (19.6)	15 (20.5) (26.3)
	60～	148 (84.1) (24.3)	28 (15.9) (32.2)	74 (77.9) (25.0)	21 (22.1) (36.8)
	合計*1	610 (87.5) (100.0)	87 (12.5) (100.0)	296 (83.9) (100.0)	57 (16.1) (100.0)
職 業	自営・家族	7 (87.5) (1.1)	1 (12.5) (1.2)	10 (90.9) (3.4)	1 (9.1) (1.8)
	勤務者	218 (90.1) (35.8)	24 (9.9) (27.9)	97 (90.7) (33.3)	10 (9.3) (17.9)
	主婦	198 (82.8) (32.5)	41 (17.2) (47.7)	90 (76.3) (30.9)	28 (23.7) (50.0)
	学生	95 (93.1) (15.6)	7 (6.9) (8.1)	51 (92.7) (17.5)	4 (7.3) (7.1)
	無職	91 (87.5) (14.9)	13 (12.5) (15.1)	43 (76.8) (14.8)	13 (23.2) (23.2)
	合計*2	609 (87.6) (100.0)	86 (12.4) (100.0)	291 (83.9) (100.0)	56 (16.1) (100.0)

*1 石狩市民図書館においては10歳未満の者11名を除外した。

*2 各類型における職業不明者及び、その他の職業と回答した者を除く。

*3 類B1は最近隣の分館(室)を利用していない者(北広島6名、石狩3名)を除く。

*4 上段数値：人数(人)、中段数値：横計割合(%)、下段数値：縦計割合(%)

表 5 本館利用者の年齢と職業構成

単位：人（％）

職業 年齢	北広島市図書館						石狩市民図書館					
	自営	勤務	主婦	学生	無職	全体	自営	勤務	主婦	学生	無職	全体
10～19		1 (0.2)		67 (11.0)		68 (11.2)				43 (14.8)		43 (14.8)
20～29		46 (7.6)	9 (1.5)	28 (4.6)	6 (1.0)	89 (14.6)		18 (6.2)	2 (0.7)	8 (2.7)	2 (0.7)	30 (10.3)
30～39	1 (0.2)	36 (5.9)	45 (7.4)		1 (0.2)	83 (13.6)		19 (6.5)	23 (7.9)		1 (0.3)	43 (14.8)
40～49	1 (0.2)	59 (9.7)	55 (9.0)		4 (0.7)	119 (19.5)	4 (1.4)	25 (8.6)	16 (5.5)			45 (15.5)
50～59	3 (0.5)	53 (8.7)	42 (6.9)		4 (0.7)	102 (16.7)	5 (1.7)	24 (8.2)	26 (8.9)		2 (0.7)	57 (19.6)
60以上	2 (0.3)	23 (3.8)	47 (7.7)		76 (12.5)	148 (24.3)	1 (0.3)	11 (3.8)	23 (7.9)		38 (13.1)	73 (25.1)
合計*1	7 (1.1)	218 (35.8)	198 (32.5)	95 (15.6)	91 (14.9)	609 (100.0)	10 (3.4)	97 (33.3)	90 (30.9)	51 (17.5)	43 (14.8)	291 (100.0)

*1 類 A1、類 A2 を合算した本館利用者のみを対象としている。

*2 上段数値：人数(人)、下段数値：総和の割合(%)

5. 本館来館者調査から

5.1 平日・休日別構成

登録者の約 8 割が本館利用者（北広島 80.5%，石狩 74.4%〈市外在住者も含む〉）であったことから両図書館の平日・休日別来館者を年齢階層別、性別、職業種別に示したものが表 6 である。

北広島市図書館は火・水・木曜日が 10：00～20：00、金・土・日及び開館する祝日が 10：00～18：00 と開館時間が異なっており、休日の開館時間は平日よりも 2 時間短い、平日 463 人、休日 504 人と来館者は休日の方が多くなっている。

また、石狩市民図書館の場合も水・木曜日は 10：00～20：00、土・日曜日は 10：00～17：00 と開館時間が異なり、休日の開館時間は平日よりも 3 時間短いにもかかわらず、平日が 496 人、休日が 709 人と来館者は休日の方が約 1.7 倍多くなっており、両館とも利用者は平日より休日の方が多傾向にあることを現わしている。しかし、両館の平日と休日との来館者の割合には差があり ($\chi^2=9.819$, $df=1$, $p<.01$)、石狩市民

図書館は北広島市図書館よりも平日の利用が少なく、休日の利用が多い傾向にある。これは、石狩市民図書館は市外在住の利用者が多く、平日(市内 56.0%，市外 44.0%)に比べて、休日(市内 41.7%，市外 58.3%)に市外からの来館者が多かったことに起因しているものと考えられる。

来館者の男女比率をみると、平日では女性の方が多く(北広島：男性 40.4%，女性 59.6%、石狩：男性 49.2%，女性 50.8%)、休日ではほぼ同率に近づく(北広島：男性 49.6%，女性 50.4%、石狩：男性 48.5%，女性 51.5%)。

両館とも平日・休日にかかわらず女性が多い傾向にあるが、年齢階層と合わせてみると、60歳以上の年齢層においては男性(北広島：平日 80.4%，休日 70.9%、石狩：平日 82.4%，休日 78.8%)の方が断然多くなっている。従来から60歳以上の図書館利用者にはそもそも男性の方が多く、かつ本館を志向する傾向が強いと言われており、その傾向は本調査結果にも顕著に現れている。

職業種別構成をみると、両館とも平日・休日の来館者の割合が勤務者と学生は類似しており(北広島： $\chi^2=3.197$, $df=1$, $p>.05$ 、石狩： $\chi^2=2.436$, $df=1$, $p>.05$)、主婦と無職者は類似している(北広島： $\chi^2=0.861$, $df=1$, $p>.05$ 、石狩： $\chi^2=2.055$, $df=1$, $p>.05$)。

勤務者(北広島：平日 24.2%，休日 37.3%、石狩：平日 37.7%，休日 44.1%)と学生(北広島：平日 24.4%，休日 27.6%、石狩：平日 14.7%，休日 22.4%)は平日より休日の利用比率が高く、主婦(北広島：平日 26.3%，休日 19.4%、石狩：平日 23.0%，休日 19.0%)と無職者(北広島：平日 22.5%，休日 13.7%、石狩：平日 18.8%，休日 11.7%)は逆に平日よりも休日の利用比率が低くなっている。これは、平日に仕事や学校で利用できない勤務者と学生の利用が休日に増えるのに対して、比較的時間に余裕のある主婦や無職高齢者は休日の混雑を避けて平日に利用していることによるものと思われる。

表6 来館者の平日・休日別構成

単位：人（％）

属性 調査館・日	年齢		性別		職業種別				合計
	男性	女性	勤務	主婦	学生	無職			
2002年11月12日 (火曜)	0～12	6(3.2)	19(6.9)			20(17.7)	5(4.8)	25(5.4)	
	13～15	4(2.1)	5(1.8)			9(8.0)		9(1.9)	
	16～19	16(8.6)	46(16.7)	1(0.9)		61(54.0)		62(13.4)	
	20～29	24(12.8)	50(18.1)	32(28.6)	8(6.6)	22(19.5)	10(9.6)	74(16.0)	
	30～39	15(8.0)	43(15.6)	21(18.8)	33(27.0)	1(0.9)	2(1.9)	58(12.5)	
	40～49	12(6.4)	49(17.8)	22(19.6)	36(29.5)		3(2.9)	61(13.2)	
	50～59	24(12.8)	43(15.6)	19(17.0)	31(25.4)		11(10.6)	67(14.5)	
	60～	86(45.9)	21(7.6)	17(15.2)	14(11.5)		73(70.2)	107(23.1)	
	合計	187(100.0)	276(100.0)	112(100.0)	122(100.0)	113(100.0)	104(100.0)	463(100.0)	
		(40.4)	(59.6)	(24.2)	(26.3)	(24.4)	(22.5)	(100.0)	
2002年11月23日 (祝日)	0～12	13(5.2)	25(9.8)			35(25.2)	3(4.3)	38(7.5)	
	13～15	13(5.2)	14(5.5)			27(19.4)		27(5.4)	
	16～19	25(10.0)	31(12.2)	1(0.5)		54(38.8)	1(1.4)	56(11.1)	
	20～29	34(13.6)	37(14.6)	1(10.0)	5(5.1)	22(15.8)	8(11.6)	71(14.1)	
	30～39	29(11.6)	57(22.4)	2(20.0)	32(32.7)		3(4.3)	86(17.1)	
	40～49	45(18.0)	31(12.2)	2(20.0)	51(27.1)	1(0.7)	2(2.9)	76(15.1)	
	50～59	35(14.0)	36(14.2)	4(40.0)	37(19.7)	25(25.5)	5(7.2)	71(14.1)	
	60～	56(22.4)	23(9.1)	1(10.0)	15(8.0)	16(16.3)	47(68.1)	79(15.7)	
	合計	250(100.0)	254(100.0)	188(100.0)	98(100.0)	139(100.0)	69(100.0)	504(100.0)	
		(49.6)	(50.4)	(37.3)	(19.4)	(27.6)	(13.7)	(100.0)	

本館の立地状況の異なる2都市における図書館利用行動分析

属性 調査館・日	年齢	性別		職業種別				合計	
		男性	女性	勤務	主婦	学生	無職		
2005年6月16日 (木曜)	0～12	11(4.5)	21(8.3)			18(24.7)	14(15.1)	32(6.5)	
	13～15	8(3.3)	11(4.4)			19(26.0)		19(3.8)	
	16～19	8(3.3)	11(4.4)			17(23.3)	2(2.2)	19(3.8)	
	20～29	41(16.8)	46(18.3)	3(10.3)	43(23.0)	8(7.0)	14(15.1)	87(17.5)	
	30～39	32(13.1)	51(20.2)	6(20.7)	49(26.2)	25(21.9)		83(16.7)	
	40～49	32(13.1)	48(19.0)	7(24.1)	37(19.8)	36(31.6)		80(16.1)	
	50～59	42(17.2)	49(19.4)	8(27.6)	37(19.8)	35(30.7)		91(18.3)	
	60～	70(28.7)	15(6.0)	5(17.2)	21(11.2)	10(8.7)		85(17.1)	
	合計	244(100.0)	252(100.0)	29(100.0)	187(100.0)	114(100.0)	73(100.0)	93(100.0)	496(100.0)
		(49.2)	(50.8)	(5.8)	(37.7)	(23.0)	(14.7)	(18.8)	(100.0)
2005年6月19日 (日曜)	0～12	44(12.8)	60(16.4)			73(45.9)	31(37.3)	104(14.7)	
	13～15	13(3.8)	23(6.3)			36(22.6)		36(5.1)	
	16～19	11(3.2)	21(5.8)		2(0.6)	1(0.7)	1(1.2)	32(4.5)	
	20～29	34(9.9)	56(15.3)		60(19.2)	4(3.0)	19(11.9)	90(12.7)	
	30～39	58(16.9)	80(21.9)	6(31.6)	81(25.9)	45(33.3)	2(1.3)	138(19.5)	
	40～49	68(19.8)	80(21.9)	8(42.1)	84(26.8)	52(38.5)	1(0.6)	148(20.9)	
	50～59	64(18.6)	31(8.4)	4(21.1)	66(21.1)	20(14.8)		95(13.4)	
	60～	52(15.1)	14(3.8)	1(5.3)	20(6.3)	13(9.6)		66(9.3)	
	合計	344(100.0)	365(100.0)	19(100.0)	313(100.0)	135(100.0)	159(100.0)	83(100.0)	709(100.0)
		(48.5)	(51.5)	(2.7)	(44.1)	(19.0)	(22.4)	(11.7)	(100.0)

すなわち、本館利用者の中でも平日と休日とで利用者層の棲み分けがなされているといえる。

5.2 利用目的・頻度

表7は利用目的を、表8は利用頻度をまとめたものである。

(1) 利用目的

両館とも約半数の利用者(北広島 45.2%, 石狩 51.8%)が「館外借出・返却」を目的として来館しており、本館利用においても資料の借出・返却が中心であるが¹⁶⁾、両館の間で利用目的には差がある ($\chi^2=32.367$, $df=7$, $p<.01$)。

両館における相違点は、北広島市図書館は石狩市民図書館に比べて「借出・返却」目的の来館者が少なく、「館内利用」目的、及び「立ち寄り」利用の来館者が多い傾向が現れていることである。このことは、駅前商業地周辺のような立地条件の良い場所に図書館を設置すると、特に目的なしに立ち寄る利用者層を新たに獲得する可能性があることを示唆しているといえる。

(2) 利用頻度

両館とも「月に2～3回」(北広島 40.6%, 石狩 47.4%)が最も多く、次いで「週に1回程度」(北広島 33.3%, 石狩 28.2%)の順であるが、両館の間には利用頻度に差がある ($\chi^2=19.348$, $df=5$, $p<.01$)。

両館における相違点は、北広島市図書館では高頻度利用者が多く、石狩市民図書館では「月に2～3回」程度の来館者が多い傾向にあることである。これは両館とも平日より休日の利用が多いが、市域の核とは言いがたい場所に設置された石狩市民図書館では休日利用が特に顕著であったこと、また北広島市図書館では「館内利用」や「立ち寄り利用」

本館の立地状況の異なる2都市における図書館利用行動分析

表7 利用目的

単位：人（％）

調査館・調査日 利用目的	北広島市図書館			石狩市民図書館		
	平日	休日	全 体	平日	休日	全 体
本や雑誌などを返却するだけのため	20	23	43(4.9)	21	35	56(5.4)
本や雑誌などの借出し・返却のため	175	221	396(45.2)	205	334	539(51.8)
図書館内の資料を館内で利用するため	85	72	157(17.9)	46	61	107(10.3)
調べものや情報を得るため	79	71	150(17.1)	89	99	188(18.1)
持参してきたものを使って自習するため	27	36	63(7.2)	44	36	80(7.7)
特別な目的なしに立ち寄った	7	14	21(2.4)	7	3	10(1.0)
子供や友人に付き添って	7	14	21(2.4)	6	16	22(2.1)
その他	19	6	25(2.9)	27	12	39(3.7)
合 計 *1	419	457	876(100.0)	445	596	1,041(100.0)

*1 利用目的が不明の者(北広島：平日19名、休日9名、石狩：平日19名、休日9名)を除く。

表8 利用頻度

単位：人（％）

調査館・調査日 利用頻度	北広島市図書館			石狩市民図書館		
	平日	休日	全 体	平日	休日	全 体
ほとんど毎日	47	33	80(9.6)	29	20	49(5.5)
週に1回程度	152	125	277(33.3)	105	145	250(28.2)
1ヶ月に2～3回	153	185	338(40.6)	171	249	420(47.4)
1ヶ月に1回位	28	50	78(9.4)	43	53	96(10.8)
年に数回	19	30	49(5.9)	22	40	62(7.0)
それ以下	4	6	10(1.2)	5	5	10(1.1)
合計*1	403	429	832(100.0)	375	512	887(100.0)

*1 主利用館が本館以外の利用者(北広島：平日25名、休日18名、石狩：平日54名、休日56名)、及び利用頻度不明者(北広島：平日10名、休日19名、石狩：平日35名、休日37名)を除く。

が比較的多く存在したのに対して、石狩市民図書館では資料の「借出・返却」を目的としている来館者の割合が多かったことなどに関連しており、立地特性と利用目的により利用頻度にも差が現れている結果であると考えられる。

5.3 本館を利用する理由

主利用館が本館である利用者に対し、本館を利用する理由を2つまで

の複数回答を認めて回答してもらった結果をまとめたものが表9である。両日を合算した値で考察する。

両館とも「本・雑誌の量や種類が多い」を理由として挙げている来館者（北広島 40.4%，石狩 40.8%）が最も多く、資料の豊富さに惹かれて本館を利用している点では共通しているが、両館の間には利用理由に差がある（ $\chi^2=163.264$, $df=9$, $p<.01$ ）。

次いで両館とも「家や学校、職場などから近い」が続いているが、北広島市図書館では石狩市民図書館に比べて高い割合（北広島 36.3%，石狩 28.6%）となっている。これと関連して、北広島市図書館では「立ち寄りやすい」と回答している者の割合が石狩市民図書館よりも多い（北広島 18.6%，石狩 1.9%）。一方、石狩市民図書館では「立ち寄りやすさ」は最も低い割合となっており、「内部の雰囲気が好き」と回答している者の割合が北広島市図書館よりも多くなっている（北広島 13.7%，石狩 20.4%）。これらの相違点は、北広島市図書館が市域の核と言える JR 駅前に立地していることや、石狩市民図書館が低年齢層向け・若年層向け・大人向けのそれぞれの特徴を持たせた3つの読書スペース、読書テラス、

表9 本館利用理由

単位：人（%）

理由	調査館・調査日			北広島市図書館 *2			石狩市民図書館 *3		
	平日	休日	全体	平日	休日	全体	平日	休日	全体
本や雑誌の量や種類が多い	154	180	334(40.4)	169	257	426(40.8)			
新しい本や雑誌が多い	41	53	94(11.0)	42	100	142(13.6)			
家・学校・職場などから近い	156	153	309(36.3)	147	152	299(28.6)			
駅・市役所・商店街などに近く立ち寄りやすい	78	80	158(18.6)	13	7	20(1.9)			
駐車場がある	47	62	109(12.8)	47	80	127(12.2)			
読書室(読書空間)がある	42	46	88(10.3)	34	43	77(7.4)			
職員に相談にのってもらいやすい	15	11	26(3.1)	8	15	23(2.2)			
この図書館に使い慣れている	80	83	163(19.2)	94	93	187(17.9)			
外観や内部の雰囲気が好き	55	62	117(13.7)	93	120	213(20.4)			
その他	23	18	41(4.1)	34	42	76(7.3)			

*1 理由2つまでの選択を認めているので合計は100%を超える。

*2 主利用館が本館の者851人(平日409人、祝日442人)の数値である。

*3 主利用館が本館の者1,044人(平日447人、休日597人)の数値である。

軽食喫茶スペースなどを設けた滞在型利用を意識した郊外施設であることなどといった両館の立地状況・施設設備の違いによる差であるといえる。

従来から本館の主たる利用理由とされてきた「蔵書量の多さ」、「距離の近さ」や「慣れ」などに加え、「外観や内部の雰囲気が好き」（北広島 13.7%，石狩 20.4%）や、「駐車場がある」（北広島 12.8%，石狩 12.2%）などといった施設設備・環境面での項目を利用理由に挙げる利用者が増えてきているところに近年の図書館選択基準動向の変化を垣間みることができるといえよう。

5.4 来館過程

どこから図書館に来たかの直前の場所を尋ね、平日・休日別、並びに市内在住者と市外在住者とに分けて来館経路を示したものが表 10 である。

両館とも「自宅から」の来館が最も多く、平日（北広島 62.6%，石狩 66.8%）よりも休日（北広島 75.6%，石狩 85.1%）の方が高い割合を示している。

平日では、次いで「学校や職場から」が（北広島 24.4%，石狩 21.8%）続いているが、休日での次位は「買物などの出先から」（北広島 15.5%，石狩 12.3%）である。

両館を比較すると、来館経路は平日には差がない（ $\chi^2=2.638$ ， $df=3$ ， $p>.05$ ）が、休日には差がないとはいえず（ $\chi^2=24.237$ ， $df=3$ ， $p<.01$ ）、北広島市図書館は「学校や職場から」や「買い物などの出先から」等の利用が比較的多く、石狩市民図書館は「自宅から」の利用が多い傾向にある。

これも立地特性の違いによるものであり、5.2 節の利用目的で述べたことと関連し、図書館は本来何らかの目的をもって自宅から直接来館す

表 10 来館過程

単位：人（％）

調査館 調査日 来館経路	北広島市図書館						石狩市民図書館					
	平 日			休 日			平 日			休 日		
	市内	市外	全体	市内	市外	全体	市内	市外	全体	市内	市外	全体
自宅から	235 (58.6)	16 (4.0)	251 (62.6)	279 (61.9)	62 (13.8)	341 (75.6)	173 (38.5)	127 (28.3)	300 (66.8)	208 (35.6)	290 (49.6)	498 (85.1)
学校や職場から	59 (14.7)	39 (9.7)	98 (24.4)	16 (3.6)	12 (2.7)	28 (6.2)	50 (11.1)	48 (10.7)	98 (21.8)	4 (0.7)	5 (0.8)	9 (1.5)
買物などの出先から	37 (9.2)	5 (1.3)	42 (10.5)	58 (12.7)	12 (2.7)	70 (15.5)	22 (4.9)	15 (3.3)	37 (8.2)	28 (4.8)	44 (7.5)	72 (12.3)
その他	6 (1.5)	4 (1.0)	10 (2.5)	8 (1.8)	4 (0.9)	12 (2.7)	6 (1.3)	8 (1.8)	14 (3.1)	2 (0.3)	4 (0.7)	6 (1.0)
合 計 *1	337 (84.0)	64 (16.0)	401 (100.0)	361 (80.0)	90 (20.0)	451 (100.0)	251 (55.9)	198 (44.1)	449 (100.0)	242 (41.4)	343 (58.6)	585 (100.0)

*1 住所、来館過程のいずれかが不明の者を除く。

る「目的施設」であるが、駅前のような商業地に建設することにより「立ち寄り施設」の利用も増える可能性があることを示唆しているといえる。

5.5 自宅からの距離

自宅からの直接来館者が大多数を占めていることから、来館者の自宅からの距離を距離区別に示し、利用圏域の広がりを見たものが表 11 である。

来館者の距離区別累積百分率をみると、来館者の約半数（北広島：平日 47.6％，休日 42.5％、石狩：平日 49.4％，休日 39.3％）が北広島市図書館では 1.5 km 内に包含されているが、石狩市民図書館では 3 km まで拡大しており、石狩市の方が利用圏域は広いことがわかる。これは立地特性の違いに加え、来館者のうち市外在住者の占める割合（北広島：平日 14.6％，休日 19.3％、石狩：平日 43.9％，休日 58.3％）が北広島市図書館の方が少ないのに対して、石狩市民図書館では札幌市民を中心とする市外在住者が来館者全体の約半数（52.1％）を占めていることによる。

表 11 自宅からの距離

単位：人（％）

調査館 調査日	北広島市図書館						石狩市民図書館						
	平日			休日			平日			休日			
	市内	市外	全体	累積 百分率	市内	市外	全体	累積 百分率	市内	市外	全体	累積 百分率	
距離区分													
200m未満	17		18(4.5)	4.5%	7		7(1.6)	1.6%	4		4(0.9)	0.9%	3(0.5)
200～400m未満	10		11(2.8)	7.3%	18		18(4.1)	5.7%	11		11(2.4)	3.2%	6(1.0)
400～600m未満	34		35(8.8)	16.1%	22	3	25(5.7)	11.4%	12		12(2.6)	5.8%	13(2.1)
600～800m未満	27		27(6.8)	22.9%	25	1	26(5.9)	17.3%	9		9(1.9)	7.8%	15(2.5)
800～1km未満	48		50(12.6)	35.5%	35		35(8.0)	25.2%	30	3	33(7.1)	14.8%	7(1.1)
1～1.5km未満	45		48(12.1)	47.6%	73	3	76(17.3)	42.5%	57	7	64(13.9)	28.8%	40(6.6)
1.5～2km未満	42		44(11.1)	58.7%	62	4	66(15.0)	57.5%	27	6	33(7.1)	35.9%	29(4.8)
2～3km未満	37	2	40(10.1)	68.8%	41	2	43(9.8)	67.3%	53	9	62(13.4)	49.4%	38(6.3)
3～5km未満	27		29(7.3)	76.1%	29	9	38(8.6)	75.9%	32	35	67(14.5)	63.9%	60(10.0)
5～10km未満	28	10	39(9.8)	85.9%	35	21	56(12.7)	88.6%	22	76	98(21.2)	85.1%	26(4.3)
10km以上	9	46	56(14.1)	100.0%	8	42	50(11.4)	100.0%	2	67	69(14.9)	100.0%	2(0.3)
合 計 *1	324	58	397(100.0)		355	85	440(100.0)		259	203	462(100.0)		605(100.0)

*1 自宅からの距離が不明の者を除く。

また、一般的な本館の利用圏域とされる 3～5 km の距離区分で比較すると、来館者の累積百分率は北広島市図書館で平日 76.1%、休日 75.9%、石狩市民図書館で平日 63.9%、休日 59.7%となっており、両館とも平日よりも休日の方が利用圏域は広いことがわかる。

5.6 利用交通手段と所要時間

図書館までの利用交通手段と手段別の平均所要時間をまとめたものが表 12 である。なお、複数の乗り物を利用して来館した利用者には、そのうちで最も長い時間を要した手段と合計所要時間を回答してもらっている。

来館者全体の平均所要時間は両館とも平日の方が長い（北広島：平日 14.2 分、休日 9.7 分、石狩：平日 13.6 分、休日 12.6 分）。この結果は前節の自宅からの距離と合わせると、休日は遠くから来館している利用者

表 12 利用交通手段と所要時間

単位：人（%）

調査館 調査日	北広島市図書館						石狩市民図書館					
	平 日			休 日			平 日			休 日		
	市内	市外	全体	市内	市外	全体	市内	市外	全体	市内	市外	全体
徒 歩	137 (40.4)	25 (30.9)	162 (38.6)	134 (37.3)	15 (16.7)	149 (33.2)	24 (9.5)	4 (2.0)	28 (6.2)	6 (2.5)		6 (1.0)
	11.0	15.2	11.7	9.6	13.0	10.0	10.1	16.3	11.0	20.0		20.0
自転車	24 (7.1)	2 (2.5)	26 (6.2)	12 (3.3)	1 (1.1)	13 (2.9)	60 (23.8)	15 (7.6)	75 (16.7)	50 (20.6)	14 (4.1)	64 (11.0)
	6.0	5.0	5.9	11.5	—	10.6	12.8	17.7	13.8	8.7	22.1	11.6
バイク	1 (0.3)		1 (0.2)				3 (1.2)	2 (1.0)	5 (1.1)	1 (0.4)		1 (0.2)
	—		—				3.3	22.5	11.0	—		—
自家用車	123 (36.3)	28 (34.6)	151 (36.0)	185 (51.5)	62 (68.9)	247 (55.0)	154 (61.1)	169 (85.4)	323 (71.8)	182 (74.9)	323 (95.3)	505 (86.8)
	9.6	21.7	11.9	8.0	14.5	9.6	8.9	16.0	12.6	6.8	15.9	12.6
路線バス	21 (6.2)	7 (8.6)	28 (6.7)	19 (5.3)	5 (5.6)	24 (5.3)	11 (4.4)	8 (4.0)	19 (4.2)	4 (1.6)	2 (0.6)	6 (1.0)
	14.9	17.1	15.5	11.8	25.0	14.6	31.4	37.5	33.9	21.3	15.0	19.2
電 車	33 (9.7)	19 (23.5)	52 (12.4)	9 (2.5)	7 (7.8)	16 (3.6)						
	32.2	33.7	32.7	18.3	28.9	22.9						
合 計 *1	339 (100.0)	81 (100.0)	420 (100.0)	359 (100.0)	90 (100.0)	449 (100.0)	252 (100.0)	198 (100.0)	450 (100.0)	243 (100.0)	339 (100.0)	582 (100.0)
	12.4	21.7	14.2	9.2	15.8	9.7	10.9	17.1	13.6	7.7	16.1	12.6

*1 利用交通手段、所要時間のいずれかが不明の者を除く。

*2 上段数値：来館者の人数(人)、中段数値：来館者の割合(%)、下段数値：平均所要時間(分)

が多い分、自家用車を主要な交通手段として来館している利用者が多いことによる。

石狩市民図書館はほとんどが自家用車利用(平日 71.8%, 休日 86.8%)であり、次いで自転車(平日 16.7%, 休日 11.0%)となっている。徒歩での来館が極端に少ない(平日 6.2%, 休日 1.0%)のが特徴である。

一方、北広島市図書館も自家用車利用(平日 36.0%, 休日 55.0%)が中心であり、次いで徒歩(平日 38.6%, 休日 33.2%)、電車(平日 12.4%, 休日 3.6%)の順である。近くに大規模な北広島団地があるため徒歩での来館も比較的多いが、駅前のような立地条件の良い場所でも広い駐車場が必要であることを現しているといえよう。

このように図書館の立地特性により交通手段の違いは生じているが、いずれの交通手段利用でも所要時間にはほとんど差がない。距離に応じて移動手段が選択されており、9割強の来館者が図書館から平均移動時間距離 15 分以内(北広島: 平日 14.2 分, 休日 9.7 分、石狩: 平日 13.6 分, 休日 12.6 分)に分布している。このことから、本館の利用圏域は移動時間距離 15 分程度(自家用車でおよそ 10 km)までが許容距離として拡大していると判断できる。

5.7 滞在時間

前節で両館とも自家用車利用が多かったことから、自家用車利用者と非自家用車利用者別に 30 分単位での在館者数をみたものが表 13 である。

来館者全体での平均在館時間は、両館とも平日(北広島 74 分, 石狩 77 分)より休日(北広島 67 分, 石狩 65 分)の方が短い。また、自家用車利用者と非自家用車利用者との平均在館時間を比較すると、平日・休日とも自家用車利用者(北広島: 平日 65 分, 休日 60 分、石狩: 平日 69 分, 休日 62 分)よりも非自家用車利用者(北広島: 平日 81 分, 休日 76 分、

石狩：平日 97 分，休日 91 分）の方が長い。自家用車による来館者の平均在館時間は、60～70 分程度である。駐車場の利用率が高く、もし時間制限を設ける必要があるのであれば、2 時間まで無料にすることで充分と考える。

自家用車利用者の最大在館者数についてみると、北広島市図書館では休日の 13：30 分～14：30 分の 30 分間に 57 人が在館しており、石狩市民図書館では休日の 11：00～11：30 分の 30 分間に 119 人が在館している。石狩市のような市街地から離れた郊外型立地の図書館の場合には、少なくとも自家用車利用者の時間帯別在館者数の最大値に見合った広い駐車場を整備する必要があるといえる。

表 13 時間帯別在館者数

単位：人（％）

時間帯(30分ごと)	北広島市図書館				石狩市民図書館			
	平日		休日		平日		休日	
	自家用車	非自家用車	自家用車	非自家用車	自家用車	非自家用車	自家用車	非自家用車
10：00～10：30	24(15.9)	28(10.4)	30(12.1)	30(14.9)	40(12.5)	12(9.4)	73(14.5)	9(11.7)
10：30～11：00	26(17.2)	35(13.1)	46(18.6)	41(20.3)	59(18.4)	14(10.9)	114(22.6)	13(16.9)
11：00～11：30	28(18.5)	51(19.0)	56(22.7)	49(24.3)	67(20.9)	17(13.3)	119(23.6)	11(14.3)
11：30～12：00	27(17.9)	52(19.4)	54(21.9)	47(23.3)	60(18.8)	20(15.6)	117(23.2)	13(16.9)
12：00～12：30	29(19.2)	44(16.4)	53(21.5)	37(18.3)	50(15.6)	19(14.8)	112(22.2)	16(20.8)
12：30～13：00	25(16.6)	49(18.3)	44(17.8)	44(21.8)	50(15.6)	22(17.2)	104(20.6)	15(19.5)
13：00～13：30	29(19.2)	42(15.7)	42(17.0)	40(19.8)	43(13.4)	26(20.3)	109(21.6)	20(26.0)
13：30～14：00	28(18.5)	48(17.9)	57(23.1)	50(24.8)	49(15.3)	29(22.7)	104(20.6)	24(31.2)
14：00～14：30	26(17.2)	61(22.8)	53(21.5)	68(33.7)	48(15.0)	32(25.0)	108(21.4)	40(51.9)
14：30～15：00	28(18.5)	54(20.1)	54(21.9)	62(30.7)	54(16.9)	36(28.1)	111(22.0)	38(49.4)
15：00～15：30	26(17.2)	53(19.8)	49(19.8)	51(25.2)	66(20.6)	43(33.6)	112(22.2)	34(44.2)
15：30～16：00	29(19.2)	65(24.3)	48(19.4)	44(21.8)	61(19.1)	43(33.6)	108(21.4)	25(32.5)
16：00～16：30	25(16.6)	60(22.4)	34(13.8)	40(19.8)	49(15.3)	43(33.6)	114(22.6)	23(29.9)
16：30～17：00	16(10.6)	58(21.6)	34(13.8)	37(18.3)	37(11.6)	36(28.1)	84(16.6)	20(26.0)
17：00～17：30	17(11.3)	54(20.1)	29(11.7)	28(13.9)	52(16.3)	29(22.7)	夜間閉館なし (17：00 閉館)	
17：30～18：00	17(11.3)	57(21.3)	18(7.3)	21(10.4)	49(15.3)	30(23.4)		
18：00～18：30	16(10.6)	48(17.9)	夜間閉館なし (18：00 閉館)		55(17.2)	29(22.7)		
18：30～19：00	16(10.6)	37(13.8)			52(16.3)	22(17.2)		
19：00～19：30	11(7.3)	32(11.9)			49(15.3)	20(15.6)		
19：30～20：00	10(6.6)	23(8.6)			33(10.3)	12(9.4)		
平均在館時間	65 分	81 分	60 分	76 分	69 分	97 分		
入館者(サンプル数)*1	151	268	247	202	320	128	505	77

*1 中学生(13 歳以上)のみを集計した。

*2 入退館時間、及び利用交通手段のいずれかが不明の者を除く。

6. まとめ

北広島市・石狩市の両図書館においては、近隣市町村の枠を越えての利用登録を認めており、利用者の多様な要求に合わせた広域的な施設選択の可能性を示唆している。

本稿では、住民の図書館に対する評価の結果が利用行動として現れるという立場から、大都市に隣接し、本館の立地状況の異なる2市における登録者調査及び来館者調査を基に図書館利用行動の特性を分析し、駅前という市域の核とも言うべき場所に設置された北広島市図書館と市街地から離れ市域の核とは言いがたい場所に設置された石狩市民図書館での利用行動の共通点と相違点、また平日と休日における利用行動の差異について明らかにした。

利用実態からは両館の利用目的、利用頻度、利用理由、来館経路、利用圏域、交通手段に有意な差が見られたが、市街中心部の駅前立地型か郊外の役所隣接型かといった本館の立地特性による優劣を競う内容の違いとまでは考えられず、むしろ基本的な図書館利用行動には差がないことが明らかになった。要点をまとめると以下のものである。

- 1) 両市とも分館（室）を利用している利用者はほぼ例外なく最近隣の分館（室）を利用しているものの、自家用車利用の増加に伴い、約8割の利用者が本館の資料の豊富さ、非日常的な施設・設備の魅力に惹かれての本館志向を強めており、従来距離により影響を受けやすく分館利用の中心であった主婦・高齢者層においても本館利用者が増えている。
- 2) 最近隣館が本館である利用者と分館（室）である利用者の割合は立地特性の違いにより両市で差があるが、最近隣館が分館（室）である利用者が分館（室）を主に利用するか、本館を主に利用するかを選択に本館の立地位置は影響していない。

- 3) 主利用館が本館または分館（室）である利用者間に関しては両市で年齢及び職業構成に有意な差は認められず、両市とも従来から本館利用の中心とされていた勤務者層に加え、10歳代の小・中・高校生といった学生層、30歳代～40歳代の主婦層、及び60歳以上の無職高齢者層などが幅広く本館利用へ移行してきている。
- 4) 両館とも来館者は平日より休日の方が多いが、休日利用は市域の中心にない石狩市民図書館の方が多。また、両館とも平日では女性の割合が多いが、休日では男女ほぼ同じ割合になる。これは、主婦と無職者は平日の利用比率が高く、勤務者と学生は休日の利用比率が高いことに関連しており、平日と休日とで利用者層の棲み分けがなされている。
- 5) 両館とも約半数の利用者が資料の館外借出・返却を目的として、「月に2～3回」の頻度で利用しており、本館においても分館利用と変わらず日常習慣的に返却期限ごとに来館している利用者が多。一方で、北広島市図書館のような駅前商業地周辺の立地条件の良い場所では「館内利用」、「立ち寄り」利用の来館者も石狩市民図書館に比べてやや多く、利用頻度も高くなる傾向にある。
- 6) 両館の利用圏域には差があり、市域の中心にない石狩市民図書館の方が利用圏域は広い。しかし、両館とも自宅からの自家用車来館が中心であり、9割強の来館者が図書館から平均移動時間距離15分以内（約10km圏）に分布している。また、平日よりも休日の方が利用圏域は広い。
- 7) 両館とも平均在館時間は平日より休日の方が短く、自家用車利用者の方が非自家用車利用者よりも短い。自家用車による来館者の平均在館時間は60～70分程度である。

本館の利用圏域が飛躍的に拡大した背景には、市外在住者に対する利

用登録の容認に加え、自家用車の普及による利用者のモビリティの向上がある。また、多くの資料と非日常的な空間を備え新築された本館は、従来の近隣分館利用者層にも本館志向をもたらしたといえる。

広域分散・自家用車依存社会¹⁷⁾、市域を超えてのセミラティス的な利用構造¹⁸⁾を形成している地域では、駅前のような好立地であろうとも時間帯別在館者数の最大値に見合った専用駐車場を備えること、段階構成論的設置計画はもはや通用しなくなっていることから受持ち範囲をある程度広くしても規模の大きなものを設置することなどが施設計画上重要であると考え。また、複合施設化するに当たっては平日より休日の方が自家用車で来館が多いことから、役所と併設することにより効率よく駐車場の共用を図ることができるものとする。近隣分館利用者がどのような条件下で遠方の本館を選択利用するようになるかについては、別報にて扱いたい。

註・参考文献

- 1) 北海道で市制を施行している35市の図書館住所から、検索エンジン google のエリア情報検索機能（オンライン）、入手先 <<http://map.google.ne.jp/address/01/>>を使って各図書館の周辺地図を表示させ判断し、(A)役所隣接型（市役所の近くにあり、それに関連して警察署、郵便局、市民会館等の公共施設が周辺にある）、(B)市街地型（ほぼ市の中心と思われる発展した場所で、周辺には学校や住宅、ショッピングセンターなどがある）、(C)JR駅前型（JR駅から徒歩10分程度の位置にある）、(D)公園型（大きな公園の中、あるいはその周辺にある）の4つに分類した。
(A) 役所隣接型(14館)：芦別市、網走市、石狩市、登別市、小樽市、北斗市、砂川市、名寄市、室蘭市、紋別市、夕張市、歌志内市、美瑛市、留萌市
(B) 市街地型(12館)：恵庭市、北見市、深川市、函館市、赤平市、三笠市、釧路市、根室市、江別市、札幌市、伊達市、富良野市

(C) JR 駅前型（4 館）：帯広市、北広島市、稚内市、士別市

(D) 公園型（5 館）：旭川市、千歳市、滝川市、岩見沢市、苫小牧市

最近では、函館市（2005.11）が中心市街地の五稜郭公園横に、北広島市（1998.10）、稚内市（2003.6）、帯広市（2006.3）などが JR 駅前周辺に新図書館を設置するなど、市街地への公共施設の進出によって都市の活性化を図ろうとする傾向も見られるが、上記のように役所隣接型と市街地型が多く、石狩市（2000.6）のように市街地からやや離れた郊外地に設置する事例も見られる。

- 2) 栗原嘉一郎，中根賢哉「読書施設の状況と住民の読書形態：公共図書館の設置計画に関する研究・1」『日本建築学会論文報告集』第 122 号，1966.4, p.30-36.
- 3) 栗原嘉一郎，竹下俊夫「読書施設の状況と住民の読書形態・続：公共図書館の設置計画に関する研究・2」『日本建築学会論文報告集』第 127 号，1966.9, p.43-48.
- 4) 栗原嘉一郎，竹下俊夫「公共図書館利用者についての分析：公共図書館の設置計画に関する研究・3」『日本建築学会論文報告集』第 130 号，1966.12, p.27-32.
- 5) 栗原嘉一郎「児童の読書形態と図書館利用：公共図書館の設置計画に関する研究・4」『日本建築学会論文報告集』第 189 号，1971.11, p.103-108.
- 6) 栗原嘉一郎，篠塚宏三，中村恭三「分館の利用圏域：公共図書館の設置計画に関する研究・5」『日本建築学会論文報告集』第 194 号，1972.4, p.45-52.
- 7) 栗原嘉一郎，篠塚宏三，中村恭三「分館の規模計画：公共図書館の設置計画に関する研究・6」『日本建築学会論文報告集』第 213 号，1973.11, p.45-54.
- 8) 栗原嘉一郎，篠塚宏三，中村恭三，高山司郎「分館群の計画と経済性：公共図書館の設置計画に関する研究・7」『日本建築学会論文報告集』第 227 号，1975.1, p.99-106.
- 9) 栗原嘉一郎，篠塚宏三，中村恭三，高山司郎「図書館網計画のケースス

- タディ：公共図書館の設置計画に関する研究・8」『日本建築学会論文報告集』第228号, 1975.2, p.89-99.
- 10) 栗原嘉一郎, 篠塚宏三, 中村恭三「広域に対する図書館網計画：公共図書館の設置計画に関する研究・9」『日本建築学会論文報告集』第332号, 1983.10, p.118-127.
 - 11) 中村恭三, 栗原嘉一郎「地域図書館の規模別利用圏域モデル：公共図書館の設置計画に関する研究・10」『日本建築学会計画系論文集』第496号, 1997.6, p.97-104.
 - 12) 表1中の数値は、両館とも来館者調査時点でのデータである。北広島市図書館は本館竣工後、団地住民センター図書室・大曲会館図書室・西の里図書室・農民研修センター図書室・11のBMステーションで運営してきたが、2006年からは大曲図書室を分館（ふれあい学習センターの2階に約220m²、蔵書約25,000冊）に規模拡大すると共に、農民研修センター図書室を廃止し、北広島市立西部小学校に分室（小学校の中にある約340m²の公共スペース、蔵書約15,000冊）を設け、本館+1分館+3分室+11BMで運営している。また、石狩市民図書館は2005年10月1日に厚田村・浜益村と市町村合併して以来、旧厚田分館・旧浜益分館を加え、本館+5分館で運営している。
 - 13) 石狩市民図書館登録者調査（2006年6月実施）を行うに当たっては、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成十五年五月三十日法律第五十八号）が施行されたことにより、登録者情報をアンケートによる意向調査に利用するのは目的外使用に当たるということであったため、「石狩市情報公開・個人情報保護審査会」（2006年5月26日開催）の答申を待っての実施となった。個人情報保護の観点から調査対象者の抽出・宛名ラベルの作成・発送は石狩市民図書館が行うこととした。
 - 14) 質問票は内容の理解度を考慮して大人（中学生以上）用と子供（小学生以下）用の2種類を用意し、手渡す都度確認して配布すると共に、自分で記入するのが困難な幼児については同伴の父母に子供の分も記入してくれるように依頼した。

- 15) ここで言う最近隣館とは、登録者の自宅から最も近い図書館をさすが、ユークリッド距離ではなく回答者の主観的距離によるものである。現実には、道路は複雑に交差し直線ではないし、目的地までの距離は遠くとも日常生活動線上にある場合には心理的に遠く感じないということはよく知られていることから、回答者の申告に基づく心理的時間距離を用いている。また、主利用館とは、回答者が最もよく利用している図書館をさしており、これも回答者の自己申告に基づいている。
- 16) 谷村秀彦, 植松貞夫, 河村芳行, 緒方みどり「図書館利用登録者の読書量と本館・分館の使い分け行動：公共図書館の配置計画に関する基礎的研究・2」『日本建築学会大会学術講演梗概集（東海）』5261, 1985.10, p. 521-522.

1985年2月に千葉県柏市で実施した図書館登録者調査において、本館利用者は分館利用者に比べて「調べ物」など何か目的が生じたときに出かけていく目的的用户が多い（本館 28.7%, 分館 13.6%）としたが、その際にも「貸出・返却」は5割強（本館 57.4%, 分館 75.6%）を占めていた。

- 17) 広域分散・自家用車依存社会とは、全国の22%に相当する広大な面積を有する北海道において、人口の中核都市部への集中、地方都市の過疎化、また鉄道の衰退による移動交通手段としての自家用車依存の高まりにより形成された社会を意味している。

北海道の自動車保有台数は2,716,709台（平成18年3月末：北海道運輸局自動車技術安全部管理課）で、世帯数は2,379,871世帯（平成17年度国勢調査：財務省統計局）であるから1世帯につき1台（1.14台）普及している計算になる。こうした自家用車の普及は、住民の行動範囲を変化させ、日常生活圏の拡大をもたらしているといえる。

- 18) 伊東豊雄ほか『徹底討論私たちが住みたい都市』平凡社, 2006, p.252-253.
- セミラティス構造とは、建築家クリストファー・アレクザンダー『都市はツリーではない（1965）』の中に出てくるツリー構造・セミラティス構造という抽象的な構造の名で、ツリー構造に対する用語として構造の

パターンが重なり合っている複雑な構造を表している。

- 19) 河村芳行「都市型公共図書館における来館者の図書館利用行動：北広島市図書館来館者調査を事例として」『北海道武蔵女子短期大学紀要』第35号, 2003.3, p.19-56.
- 20) 河村芳行「都市型公共図書館における登録者の類型別図書館利用行動：北広島市図書館を事例として」『第51回日本図書館情報学会研究大会発表要綱』2003.10, p.41-44.
- 21) 河村芳行「札幌市近郊中小都市における図書館来館者の利用行動：市制施行後に本館を新設した2市図書館を事例として」『日本図書館情報学会・三田図書館情報学会合同研究大会発表要綱』2005.10, p.109-112.